

農の未来ネット

NO.28

特定非営利活動(NPO)法人「農の未来ネット」

理事長：倉本器征(東京農工大学名誉教授)

発行責任者：田沼 繁(NPO法人農の未来ネット事務局：電話&FAX 042-313-3620)

編集長：西村正昭

<http://www.nou-mirai.org/index.html>

武蔵大学

インターンシップ

無事終了



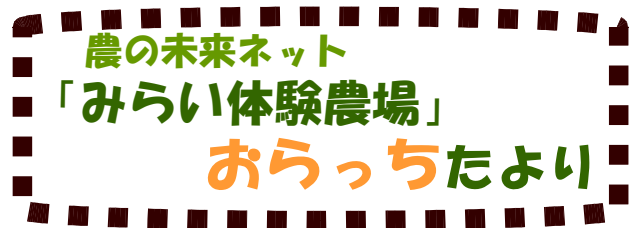
泉で開かれた産直センターの全体研修会にも参加し、

「農の未来ネット」事務局長

田沼 繁

前号でご紹介した武蔵大学丸野祐介君のインターンシップ(実習)が無事終了しました。8月20日から29日の10日間で学んだものは、20日(土)の朝、私は武蔵野線新秋津駅で丸野君と待ち合わせ、車で埼玉産直センターに向かいました。センターでは、山口専務と担当の内田さんと実習の打合せをし、インターンシップの始まりです。この日は、東都生協組合員の野菜苗定植作業があるので、まずは圃場見学。生協組合員と昼食を共にし、午後からはセンターの概要説明などが。実習期間の内容は、センター業務実習では消費者と直接取引のグリーンボックスの野菜詰め作業(写真)を、農家実習では、トマトハウス内での作業、露地ではネギ栽培作業に携わって、汗を流しました。伊香保温

多くの農家の方々とも交流をしています。実習を担当した内田さんは彼に対し「仕事に関する関心が高く、よく質問をしていた」また「言葉づかいが丁寧で、出勤態度も非常に良かった」と大変高く評価しています。丸野君には、今回の経験を、将来の仕事に是非活かしてもらいたいと思います。丸野君が実習志望動機として「私は農業に関心を持っており、将来的に農業に関わる仕事がしたい」と書かれており、今回の体験を活かし、農業に対する関心を持ち続けてほしいと思います。



「みらい体験農場」農場長

一之瀬今朝一

台風15号(9月21日)の被害もなく、稲は

順調に生育。稲刈りは、「ミルキークイーン」が9月14日に、「コシヒカリ」が9月25日・26日に終了。残りは埼玉県奨励品種「彩のかがやき」の収穫を待つだけです。これまでの収穫量は、「ミルキークイーン」が315kg(10a)、「コシヒカリ」が630kg(17a)。これらの収穫物は、細田さん宅の座敷に積み上げられています。ところで、埼玉県農林部等が、さいたま市内のお米について放射性物質検査を行いました。放射性セシウムは「検出せず」との結果がでて、安全性が確認されています。当圃場の収穫物も、放射性物質が存在しない安全なものと考えています。今年も、収穫物を会員の皆様に少量でもお米をお届けできるのではないかと思います。なお、農の未来ネットでは、12月3日(土)に収穫祭を開き新米試食を行います。後日、皆さまに詳細をご案内致しますので、是非ご参加ください。お待ちしております。

農の未来ネット

HP情報

「農の未来ネット」事務局 濱田 仁

農の未来ネットのホームページは開設してから2年5か月程になり、これまでの活動内容を報告してまいりました。現在も多くの閲覧数があり、グーグルの検索ウィンドウに「農の」と入力すると変換候補に「農の未来ネット」が登場する程になりました。同時に農の雇用事業に関する候補も登場することから、農業と雇用に関して多くの方が興味を持たれていると思われる。しかし、現在のホームページは情報の発信が主となり、閲覧者の反応が分かりにくいのが欠点です。昨今のインターネット利用方法が「検索」から「参加形」の方向に変わりつつあ

るため、農の未来ネットも、現在のホームページを補助する形でツイッターとフェイスブックを始めています。現在のホームページの右下にツイッターとフェイスブックの欄が出来ているのに気付いた方もいらっしゃるでしょう。

そこで「ツイッターとフェイスブックが何なのか? どう使ったらよいのか」をご紹介します。さらに多くの方に使って欲しいと思います。今回はフェイスブックの簡単な説明と、初めて使う方向けの登録方法をご紹介します。

<フェイスブックとはなにか>

フェイスブックは「SNS」のひとつです。SNS(Social Network Service)は、言葉通り「社会的ネットワーク」であり、情報をやりとりするネットワークサービスのことです。基本的にサービス利用は無料です。他SNSで有名なのは、ツイッター、mixi、GREEなどがあります。フェイスブックは世界最大のSNSで、他のSNSとの違いは「実名主義」が大きな特徴です。実名主義であるため、情報や意見の伝達の信頼性が大きくなります。そのため、世界各国で企業が情報発信とユーザーニーズの収集、イベント告知に利用しています。まずは登録前に農の未来ネットのフェイスブックを見てみましょう。

グーグル(www.google.co.jp)を開き、検索窓に「農の未来ネット フェイスブック」と入力して検索してください。検索結果内の「農の未来ネット Facebook」がそれです。

(画像：農の未来ネットのFacebook)

<フェイスブックの登録方法>

このように、Facebookページを見るだけであれば登録は不要です。しかし、ページ内のリンクなどを見たり、記事にコメントをするためには登録が必要となります。先に書いたようにフェイスブックは「実名主義」であるため、登録に躊躇するかもしれません。しかし、登録した



【写真】農の未来ネットフェイスブック

後用意されるページは表示範囲を規制したり、見せたくない相手を指定することもできます。嫌がらせや中傷に対しても「実名主義」ですので、相手が明らかになり、受けにくいのもフェイスブックの良いところです。先程検索して開いた農の未来ネットFacebookページの左上に「アカウント登録」の緑ボタンがありますので、これをクリックすると登録ページに進みます。フェイスブックの登録方法をまとめたページをご紹介します。

<http://www.facebook-japan.com/use/part2/registration.html>

☆登録時に必要なもの

- ・メールアドレス(公開されません)
- ・パスワード→メールのアドレスではありません。
- ・学歴／勤務先(オプションです。入力の後からでもできます)
- ・プロフィール写真(オプションです。後から選択もできます)

(注意)

メールアドレスは例えば「home@～」 「japan@～」など個人を確認しにくいものを使用すると登録取り消しになることもあります。パスワードは自由に決める事ができます。忘れにくく、他人に悟られにくい英数字混ざったものをお勧めします。大小文字の区別もあるので気をつけ

てください。プロフィール写真は同姓同名の区別や信頼性向上のために入力をお勧めします。きちんとしたものでなくても大きさや範囲を変えることができるので大丈夫です。

<Facebookの今後の活用>

・イベント告知

まずは何といっても実名主義がよいところです。私の経験では、銀座で電子書籍のイベントがあると知り、主催者のFacebookページで参加申込みをしたことがあります。主催者は、参加申込みを受け付けると同時に私が登録している勤務先、実名、おおよその住所を知ることができ、参加を受け付けたことを返してきました。その連絡は登録されたメールアドレスへ転送され届きます。イベント当日は、会場に100名近い人がいてとても驚きました。農の未来ネットでも今後のイベント告知に利用してみたいと思います。

・ボラバイト情報の収集と募集

農業法人であればフェイスブックの開設はさほど難しくないと思います。フェイスブックは相手のページに書き込むことも可能なので、ボラバイト情報記載を許可すれば、ボラバイターもスムーズに募集へ進む可能性があります。

・わたしの納豆など告知

わたしの納豆など農産加工物の紹介に積極的に利用したいと考えています。現在、ホームページをリニューアル中ですが、フェイスブックについてもコーナーを設けたいと思います。ご意見お寄せください。

**福島県矢祭町を堪能
する現地ツアー**
～矢祭町藤井酒蔵

「ひやおろし」って、知っています? ネット

トでその定義をみると「厳寒期に醸造した清酒を一夏越して熟成させ、秋口に入っ
てほどよい熟成状態で出荷する清酒」のこと。福島県矢祭町では、10月1日が「ひやおろし」の解禁日です。この度、代々地域で愛され地元収穫の酒米を使用して日本酒を頑固に造り続けている藤井健一郎さん（合名会社藤井酒造店代表社員）を訪ねて、「ひやおろし」を楽しみます。また、清酒のもとになる酒米を生産している農業生産法人「でんばた」の皆さんと仕事のこと・地域のことの話をもとに、ざっくばらんに交流を行います。この現地ツアーは、福島県矢祭町の町おこし・活性化のため尽力されているNPO法人真・食の安全・安心支援機構との共同で開催します。ぜひとも、御参加下さい！。

開催日 10月15日（土）

（参加費 9000円）

集合解散場所

大宮駅東口（駅前通り道路高島屋反対側付近）

内容

- 8:30 大宮駅東口集合
- 8:45 大宮駅東口出発
- 11:45 矢祭町直売所「太郎の四季」見学（トイレ及び各自適宜簡易昼食休憩含む）
- 12:15 酒米栽培農業生産法人「でんばた」訪問
- 13:00 藤井酒蔵見学（2班に分けて実施）
・「ひやおろし」試飲
- 14:15 「ひやおろし」を堪能しつつ交流会（杜氏さん等も参加！）
- 16:00 矢祭町出発
- 19:00 大宮駅東口到着・解散

- * 当日の交通事情等により最大で大宮駅東口到着は20:00になる場合もございますのでご了解下さい。
- * 集合場所詳細及び緊急連絡先は後日、参加登録して頂いた参加者各位に別途お知らせいたします。

申込等は下記の「農の未来ネット」HPをクリック！！

<http://www.nou-mirai.org/index.html>

Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω

編集後記

9月13日に臨時国会が召集され、菅首相から代わった野田佳彦首相が衆参本会議で初の所信表明演説を行いました。東日本大震災から半年がたつ中で、どのような対策をたてるのかを注目し、テレビ中継を見ました。「正心誠意」という言葉を最初に述べたので何かいいことをいうのかと耳をそば立てました。被災地を訪れたという野田首相からの所信表明演説では東日本大震災の復興・復興についての具体的な対策の中身を聞くことができませんでした。しかも東電福島原発の放射能汚染で避難を余儀なくされ、いまだ汚染処理の収束も出来ない状況のもとで原発の再稼働を明言するとは何を考えているのだろうと怒りさせられました。怒りも覚めやらぬときに耳障りのいい言葉が野田首相の演説から飛び込んできました。「『農業は国の本なり』との発想は、今も生きています」というのを聞き、少しでもまともなことも述べるかと思いましたが、その後がいけません。日本農業を壊滅させる環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加について早期に結論をだすといいました。農協や農民連など農民・農業団体がTPPに反対しています。8月27日には「TPPはいらない」緊急集会が開かれました。「農業は国の本なり」といいながら、「TPP」への参加をしようとする野田首相の演説に怒りが高まるばかりです。「正心誠意」農業を守り、充実させるために頑張っていかなければという思いを強くしました。（西村）

Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω θ Σ Ω